磐田NPO交流センター通信　磐田ＮＰＯ交流センターホームページ http://www3.tokai.or.jp/iwata-npo/
'04 第10号 夏

まちづくりネットワーク

こんにちは 磐田NPO交流センター通信 “まちづくりネットワーク”です

平成十七年春に、磐田市・福田町・竜洋町・豊田町・豊岡村は一つとなり、新しい「磐田市」が誕生する予定です。これまで磐田市内に全戸配布していました「磐田ＮＰＯ交流センター通信」は、今年度から「まちづくりネットワーク」として、「新しい磐田市」のみなさんにも読んでいただける事になりました。まちづくりに関するさまざまな情報や意見を掲載して、年三回発行いたします。どうぞ、よろしくお願いいいたします。

磐田NPO交流センターです

平成七年に起きた阪神淡路大震災を大きなきっかけとして、平成十年ＮＰＯ法（特定非営利活動促進法）が制定されました。磐田市では、市内のボランティア団体・ＮＰＯ法人を含む市民活動団体の参加のもと「磐田ＮＰＯ活動推進協議会」（以下ＮＰＯ協議会）が組織され、平成十二年九月旧労働会館を利用して、静岡県下初の公設市民運営の「磐田ＮＰＯ交流センター」が開所しました。さまざまな分野の市民活動団体・ボランティアグループなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動をしようと考えている人たちの拠点となるために「ＮＰＯ協議会」が磐田市から委託を受け、管理運営を行っています。

ＮＰＯは、ボランティア活動やまちづくりの市民活動を行う非営利（利益を目的としない）の民間団体やグループのことです。現在、交流センターには、磐田市内外のＮＰＯ協議会会員三十一団体を含め、七十四団体が利用者登録しています。

「困っている人の手助けをしたい」「環境を守りたい」「子供たちのために」「まちづくり」などさまざまな思いの方が集い、活動をしています。

施設の利用について

利用できる方は、非営利のボランティア活動や市民活動を行う団体・グループの構成員です。（個人目的や遊戯・趣味、政治的・宗教的活動は除く。）

利用者登録…無料　印刷機等機器利用者（年会費一〇〇〇円）夜間・休日利用は、ＮＰＯ協議会への加盟が必要です。（年会費二〇〇〇円）

利用できる施設…印刷機・コピー機・パソコン（インターネット常時接続）・メールボックス・ロッカー・一階事務局・二階会議室（少人数から六十人程度使用可）

休館日…日祝祭日・臨時休館日

会館時間…午前九時から午後五時（夜間・休館日使用はＮＰＯ協議会加盟団体）

駐車場あり

昨年度の事業

・ＮＰＯ公民館講座・交流フォーラム（十月）・ＮＰＯ交流センター通信（年三回磐田市内全戸配布）・ＮＰＯ協議会加盟団体の活動支援等

「磐田ＮＰＯ交流センター」は、次のことを目標に運営しています

1 市民活動の場の提供
2 市民・企業・行政の連携及び交流の推進
3 市民活動に関する情報の収集・提供
4 市民活動に係る人材の育成
5 市民活動に関する相談

まだ目標の実現には力が足りません。交流センターを利用していただき仲間をつくり、大きな輪となって、新しい磐田市の市民活動をより活性化することを皆さんで考えていきたいと思います。活動の大小に関わらずＮＰＯの会議、研修やイベント、印刷や編集作業などに気軽にご利用ください。

新しい磐田へ 合併エリアの首長さんに聞く！

まもなく合併する予定の私たちのまち「磐田」。行財政改革のためだけでない私たちがつくり育てる新市でありたいと思います。しかし、なかなか市民が頑張る、頑張れる状況にならないと感じています。それは市民意識がまだ低いのかもしれませんが、明確な道筋が見えないからではないでしょうか。そこで一市三町一村の首長さんにまちづくりに関するアンケートをお願いしました。

アンケート

Ａ あなたのまちのよいところを教えてください。
Ｂ まちづくりの宣言、スローガンはなんですか。
Ｃ それは住民に根付きましたか。
Ｄ 市民活動の推進のために行政側として何ができると思いますか。
Ｅ これまでのまちづくりの課題（課）と解決策（策）をあげてください。

福田町

Ａ 豊かな自然環境…遠州灘海岸、福田漁港（魚が新鮮）
自然と親しむ憩いの場…はまぼう公園
活気あふれる祭り

Ｂ「住むのに最適な健康エコロジーを目指して」
自然に育まれた豊かな心と健やかな体を慈しみ、活力とゆとりに満ちたまちづくり。

Ｃ エコタウン創造事業、緑道網整備事業を通じ「エコロジー」の意識は広まっている。

Ｄ 従来行政が担ってきた分野について可能な限り、ＮＰＯや地域組織にシフトしていくことが必要。まちづくりはその中心となる分野であり、住民が主体となって行っていくべきものである。そのあり方についても、住民による組織やＮＰＯが自ら企画し運営管理を行い、結果責任を負っていく。つまり行政とは完全に切り離され、対等な存在とならなければならない。行政が今できることは将来像を常に意識し、成熟した組織へのステップアップを手助けしていくことである。

Ｅ （課1）市街地の道路整備などは地元商店の活性化や交通安全の面からも今後課題になる。（課2）大規模な区画整理事業や都市再開発事業は負担も大きい。あるべき行政運営と逆行しかねない。（策）地域住民参加により、知恵を出し合い解決していく方向が望まれる。

はまぼう公園

竜洋町

Ａ 掛塚屋台まつり、海洋公園、風力発電施設、オートキャンプ場、昆虫自然観察公園

Ｂ「水と光と緑のまち竜洋」

Ｃ 水は天竜川・竜洋海洋公園、光は温室メロン・水稲・海老芋・白ネギなどの豊かさ、緑はふれあい公園・海洋公園・オートキャンプ場・白砂青松の海岸部としてイメージされている。

Ｄ ①市のイベントに企画の段階から市民に参加してもらい、行政側からの一方的な押し付けではなく共に創り出す工夫。②公共施設などを使う側に立った運営を考えＮＰＯなどに委託できるものは積極的に委託する。③物心両面で、市民の自由な活動への援助。④地域・職場・学校など小集団活動の育成。⑤市民活動のための情報提供。

Ｅ （課1）医療施設、病院の整備充実。（策1）民間による集積場所ができている。総合病院の開設希望。（課2）古い町並みの道路拡幅…景観維持、家屋保護とのジレンマがある。

風力発電施設「風竜」

豊田町

Ａ 香りの博物館などの文化施設、熊野の長藤、原新田公園などユニークで個性的な公園

Ｂ「安心・安全の町づくり」

Ｃ 防犯、防災、交通安全など意識が高まってきている。

Ｄ 先ず開かれた行政運営の体制づくりが必要である。そのためには「広聴」「公開」「協働」がキーワードになる。住民から広く意見を聞くこと、情報公開して住民の選択肢を広げること、住民と行政が役割分担し、協働のためのパートナーシップを確立すること。そのためには、自主独立運営が基本であるＮＰＯやボランティアへの情報提供など、側面

新造形創造館

からのサポートに徹したい。

E社会経済情勢の変化に対応し、多様化する住民要望にこたえるために効果的で柔軟な行政運営が求められている。それらを解決するためには住民参加をいかに進めるかである。そのためには行政側も住民が意見を出しやすいシステム、住民の参画を受け入れられる体制づくりが必要である。

豊岡村

A元気村、花咲乃庄（はなさかのしょう）、里山づくり

B「けっこい村づくり」運動
3つの健康度を上げる。
①自分の健康…健康村推進運動、脳刺激訓練、ウォークラリー
②地域の健康…クリーン大作戦、自然を守る運動、元気村音楽祭、ステーションフェア
③村の健康…花いっぱい運動、クリスマスイルミ運動、豊岡村塾

とれたて元気村

C70%根付いた。

D住民で出来ることは住民に任せるべく、行政はその土台作りに徹すべきと考える。

双方に役割分担を明確にして何のためにやるかという目標を描き実現のための方策、責任の所在を明文化していく。結果、市民参画の選択肢が拡がれば合併効果も上がり、住みよいまちづくり運動が展開される。

E課1役員のなり手不足…リーダーシップをとる方が少ない。批評家が多すぎる。策1運動の意義の明確徹底化。役員に対する住民の意識改革。課2財源。策2要求型もしくは「つかみ金」だと続かない。会費とか寄付を出し合って参画意識を持ち合う。課3行政マンの参画・行政マンだからやって当たり前という世間の目。策3行政マンでなく一市民としての参画宣言と世間の理解。課4流言飛語…選挙対策、利益誘導などの憶測。策4事業目的の明確化、透明性を図る。

磐田市

A遠江国分寺跡、旧見付学校などの史跡や文化財

桶ヶ谷沼に代表される豊かな自然

ジュビロ磐田

磐田スポーツ交流の里　ゆめりあ

B「都市宣言」

青少年を守り育てる都市宣言、心と心の通い合うまち都市宣言、非核平和都市宣言、シンナー・覚せい剤追放都市宣言

「スポーツのまちづくり」

生涯を通じてスポーツを楽しむことによって、心身の健全な発達や健康増進、地域間交流、産業振興、地域活性化を図る。

C各方面の協力、事業展開により理解、関心が高まり浸透している。

DNPOを含めた広義でのボランティア・まちづくり活動団体等の支援体制を強化し、市民活動がより活発化するようシステムを検討していく。

磐田市ではこれまでもNPOの交流・活動支援として場所・印刷・通信機器の提供、地域づくり事業に対する補助金制度を行ってきた。今後は情報提供などのソフト支援を積極的に進めていきたい。お仕着せではなく市民自らが多くの情報の中から必要な情報を選択でき、行政等が活動の手助けできることを検討していきたい。

E独自の政策を打ち出し特色あるオンリーワンのまちづくりを進めることが必要。キーワードは「協働でのまちづくり」。市民にもまちづくりは行政がするものという意識が残り「協働」への戸惑いも存在するように思う。「まちづくり」には市民が慣れ親しみ理解しやすく、参加しやすいようなシステム、市民が語り合える場などを構築していくことが今後の課題。

福田町　寺田　正捷町長
竜洋町　池田　藤平町長
豊田町　佐藤　芳雄町長
豊岡村　鶴田　春男村長
磐田市　鈴木　望　市長

五市町村長のみなさま、お忙しい中アンケートにご協力ありがとうございました。

「新しい磐田」のまちづくりへ

今回のアンケートにより、「新しい磐田」となる五つのまちのこれまでのまちづくりの様子を知ることができました。回答に多く見られたように、これからは我々住民ができることは自らの手でやり、行政に少しだけお手伝いいただくことになっていきます。行政として市民としてお互いを認め合い、住民のまちづくりに対する参加意識向上のため、もう一度地域を見つめ、何かしたいという人財の発掘と育成する確実な行動が急務です。開かれた情報によって市民活動のネットワークを作り、これまでの各地域での活動を根っ子にした魅力ある新しい磐田をみなさんで考え、築いていきましょう。

所属団体の紹介 ブルーフラッグ

代表 太田良 哲夫
事務局 磐田市城之崎四―一三―一〇
TEL・FAX（三七）一四七二
設立 平成十一年十二月
構成 四名（男二名 女二名）

活動目的・内容
付添いを必要とする人がサッカー観戦をする際にガイドヘルプを行っています。活動はジュビロ磐田のホームゲームが行われる日時、場所（ヤマハスタジアム・エコパ）で参加した方が楽しく熱くジュビロ磐田を応援できるようお手伝いしています。

わかふじ大会サッカーに出場の本多さん（右）

参加・協力方法
一緒にサッカーを楽しんでいただくことが一番大事なお手伝いです。
会費等 試合ごとに入場料（二〇〇〇円程度）の自己負担があります。

磐田市子連球技大会
日時 ８月１日（日）８：45～
会場 磐田市立南部中学校
内容 ソフトボール、ドッジボールの大会
主催 磐田市子ども会世話人連合会
問合せ 事務局（磐田市役所生涯学習課内）
☎0538(35)4325 田村

第７回「わたしの町のたからもの」絵画展
日時 作品募集 ７月１日（木）～９月10日（金）
展示会 11月24日（水）～28日（日）
会場 磐田市福祉センター
内容 小中学生を対象に「わたしの町のたからもの」にしたい自慢できる建物、風景、史跡等の絵を募集
主催 磐田ユネスコ協会
問合せ 事務局（磐田市役所生涯学習課内）
☎0538(35)4325 鈴木

情報募集!!
みなさんのまちの
「まちづくりの情報」
を掲載します。
お気軽にご連絡下さい。
問合せ 磐田ＮＰＯ交流センター
☎0538(36)1890（FAX共）

INFORMATION

トンボ保護のためのザリガニ釣り
日時 ８月22日（日）①10:00～12:00
場所 桶ヶ谷沼 ②13:00～15:00
内容 トンボのヤゴを食べるアメリカザリガニを釣る
主催・問合せ
ＮＰＯ法人桶ヶ谷沼を考える会
桶ヶ谷沼ビジターセンター内
とんぼハウス☎0538(37)3888 國松

全久院見学会 鎌田鍬影遺跡
日時 ８月21日（土）14：00～16：00
会場 磐田市鎌田 全久院
講師 全久院 住職 寺田康世師
主催・問合せ
遠江国分寺を考える会
☎ 0538(36)0828 佐藤

食農学習ボランティア育成講座受講生募集
日時 ８月20日（金）21日（土）
８月25日（水）26日（木）各13：00～
会場 磐田市福祉センター
内容 食農学習ボランティア講座の一環として、子ども達と共に学ぶ食育食農学習を開催します。
テーマ「子どもと学ぶ《毎日のうんち》」
「野菜の味々講座」
問合せ ＮＰＯ法人 こどもの森
☎0538(36)1311 加来

アカトンボ観察会
日時 10月17日（日）９：00～11:30
場所 桶ヶ谷沼
内容 アキアカネ、ナツアカネなど12種のアカトンボを確認
主催・問合せ
ＮＰＯ法人桶ヶ谷沼を考える会
桶ヶ谷沼ビジターセンター内
とんぼハウス☎0538(37)3888 國松

子育て講演会
日時 ９月25日（土）13：30～15：00
会場 向笠公民館
内容 幼児の親を対象とした子育て支援
主催・問合せ
向笠地区社会福祉協議会
☎ 0538(38)0219 寺田

「ユネスコを学ぼう」講座
日時 ９月12日（日）～２月19日（土）
毎月１回開催
会場 ワークピア磐田（屋外学習有）
内容 ユネスコ活動の理解。ビデオ、お話、視察見学会、ゲーム等の楽しい講座。
対象 小学５・６年生、中学１年生と家族、一般。
主催 磐田ユネスコ協会
問合せ 事務局（磐田市役所生涯学習課内）
☎0538(35)4325 鈴木

子育て無料相談室
日時 毎月第３土曜日10：00～15：00
会場 磐田ふれあい基金協会事務所
内容 友達には言えないけれど、専門家に相談するにはチョット…と思う方大歓迎。親業インストラクターが心をつなぐコミュニケーションの方法を使ってお聴きします。
後援 ＮＰＯ法人磐田ふれあい基金協会
主催・問合せ 親業ふれあい茶論（サロン）
☎0538(43)6094 竹内

ジュビロカップ ドッジボール大会
日時 11月21日（日）９：00～
会場 磐田市立磐田第一中学校
内容 ドッジボール大会
主催 磐田市子ども会世話人連合会
問合せ 事務局（磐田市役所生涯学習課内）
☎ 0538(35)4325 田村

生涯学習講座
会場 磐田市内の公民館
内容 第九を歌おう・筆文字
パソコン入門・やさしい箏
ドイツ語入門・ツボ押し
どなたでも気軽に参加して下さい。
会費 600円より
問合せ ＮＰＯ法人健康文化クラブ
☎0538(23)8186（FAX共）山鳥

編集後記
この磐田ＮＰＯ交流センター通信は、磐田まちづくりサポーターから編集委員になってくれた総勢八名で誌面をつくっています。あくまでも素人集団です。今回から磐南五市町村に全戸配布ということで、今まで以上に深い内容で、編集会議も数多く重ねてきました。合併をきっかけにより広い地域で仲間づくりができるはずです。福田町・豊田町・竜洋町・豊岡村のみなさん、まちづくりの活動団体紹介やインフォメーションなど広い情報を求めています。どんどん取材に参りますのでご連絡ください。（村上）

編集委員募集
磐田市・福田町・竜洋町・豊田町・豊岡村のみなさんいっしょにこの誌面をつくってみませんか。交流センターへご連絡ください。

●磐田NPO交流センター通信
第十号
平成十六年八月一日発行
●発行者／磐田市総務部地域振興課
〒四三八―八六五〇 磐田市国府台三―一
TEL（〇五三八）三七―四八一一
●編集／磐田NPO活動推進協議会
〒四三八―〇〇七六 磐田市中央町一二―一四
TEL（〇五三八）三六―一八九〇
E-mail:iwata-npo@za.tnc.ne.jp